

業 績 目 録（令和5年）

大学院科目名：呼吸器外科学

（A-a）英文著書

なし

（A-b）和文著書

なし

（B-a）英文総説

なし

（B-b）和文総説

なし

（C-a）英文原著

1. Inoue M, Yamamoto H, Okada Y, Sato T, Sato Y, Suzuki K, Yoshino I, Chida M;
Japanese Association of Chest Surgery.
Perioperative outcomes of minimally invasive surgery for large malignant
thymic epithelial tumors and for total thymectomy.
Surg Today. 53(9):1089-1099, 2023.
2. Suzuki H, Tsunetzuka H, Okada S, Shimomura M, Ishihara S, Inoue M.
Non-stapling thoracoscopic surgery for spontaneous pneumothorax in young
patients.
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2023 Dec 07 (Epub ahead of print).
3. Furuya T, Ishihara S, Ogi H, Masuda K, Shibata S, Nakazono C, Okada S,
Shimomura M, Tando S, Yaoi T, Maeda Y, Yamagishi M, Kawamoto H, Itoh K,
Inoue M.
Characteristic differences in the abundance of tumor-infiltrating lymphocytes
and intratumoral developing T cells in thymoma, with special reference to PD-1
expression.
Cancer Immunol Immunother. 72(8):2585-2596, 2023.
4. Nishimura T, Ii T, Inamori O, Konishi E, Yoshida A.

Primary Pulmonary Myxoid Sarcoma with EWSR1::ATF1 Fusion: A Case Report.
Int J Surg Pathol. 31(1):88-91, 2023.

5. Kameyama K, Ueshima Y, Ikebe S, Nakazono C, Urata Y, Okada S, Inoue M.
Usefulness of free pericardial fat pads as pledgets for air leaks in pulmonary resection.
Surg Today. 53(1):31-41, 2023.
6. Tokuda R, Shimomura M, Okada S, Ishihara S, Miyagawa-Hayashino A, Watanabe H, Tanaka N, Inoue M.
A mediastinal yolk sac tumor with solitary adenocarcinoma in subcarinal nodal metastases.
Ann Thorac Surg Short Reports. 2023 (Epub ahead of print).
7. Nishii-Mitsuaki M, Nakazono C, Okada S, Kameyama S, Urata Y, Inoue M, Ueshima Y.
Mesenchymal cystic hamartoma of the lung mimicking simple pulmonary aspergilloma: a case report.
Gen Thorac Cardiovasc Surg Cases 2, 23, 2023.
8. Bremmer F, Bohnenberger H, Findeisen P, Welter S, von Hammerstein-Equord A, Hinterthaler M, Müller D, Küffer S, Okada S, Marx A, Ströbel P.
Proteomic analysis identifies argininosuccinate synthetase 1 and special AT-rich sequence binding protein 1 as reliable markers for the immunohistochemical distinction between WHO types A and B3 thymomas.
Histopathology. 83(4):607-616, 2023.

(C-b) 和文原著

1. 井上匡美, 下村雅律, 岡田悟, 石原駿太.
悪性縦隔腫瘍に対する診断と集学的治療.
肺癌, 総説. 63(2):77-83, 2023.
2. 加藤大志朗.
原発性肺癌疑いの肺病変の医療 リピオドールマーキング手術という診断的治療の位置づけ.
済生会滋賀県病院医学誌. 32:39-44, 2023.
3. 下村雅律, 石原駿太, 井上匡美.
肺癌に対するロボット支援下肺区域切除術の実践.
胸部外科. 76(1): 79-83, 2023.
4. 常塚啓彰, 谷口雄基, 本田和暉、戸田省吾.
解剖学的肺切除の術後急性期における肺静脈断端距離と血栓形成に関する検討.

- 京府医大. 132(3):173-179, 2023.
5. 常塚啓彰.
肺がんの標準術式が 70 年ぶりに変更!!～肺区域切除について～.
大津市医師会誌. 46(3):46-47, 2023.
 6. 内堀篤樹, 垣淵大地, 西村元宏.
若年女性に発生した術前 123I-MIBG シンチグラフィ陰性であった後縦隔傍神経節腫の 1 例.
日呼外会誌. 37(1):42-9, 2023.
 7. 西村友樹, 徳田涼介, 上島康生.
ICG 静注区域間同定法を用いて確実に分画肺を切除した肺葉内肺分画症の 1 例.
日呼外会誌. 37(2):112-7, 2023.
 8. 北岡秀太, 岡田悟, 石原駿太, 下村雅律, 加藤大志朗, 井上匡美.
間接熱量測定法を用い気管支断端瘻治療中の栄養療法で推定ストレス係数を測定できた 3 例.
日呼外会誌. 37(2):124-130, 2023.
 9. 標玲央名.
薄切 CT における充実成分の割合と腫瘍局在が cN0 非小細胞肺癌のリンパ節転移に関連する.
日呼外科会誌. 37(7): 586-593, 2023.
 10. 土橋亮太.
パゾパニブ投与中の難治性気胸に対して外科治療を行った骨肉腫肺転移の 1 例.
日呼外会誌. 2023 (in press).
 11. 垣淵大地, 石原駿太, 下村雅律, 池部智之, 井上匡美.
左肺全摘術を施行し救命した人工呼吸管理中の肺粘表皮癌の一例.
日呼外会誌. 37(4):229-235, 2023.

(D) 学会発表等

I) 招待講演、特別講演、教育講演等

1. 島田順一.
なぜ今、医工連携にデザインは必要なのか.
第 98 回医療機器学会大会, 2023 年 6 月 30 日, パシフィコ横浜 (招待講演).
2. 島田順一.
変化の時代に挑戦する看護とイノベーションの実践.
令和 5 年度・京都府立医科大学医学部看護学科同窓会総会, 2023 年 5 月 21 日,
京都府立医科大学 (招待講演).

3. 島田順一.

聴診音解析システム を活用した医療 DX への挑戦.

第 65 回日本生体医工学学会 名古屋 看護を改革する情報医工学, 2023 年 5 月 19 日, 名古屋大学 (招待講演).

II) シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

1. 上島康生, 石原駿太, 本田和暉.

当科におけるロボット支援手術の歩み.

第 26 回東福寺がん診療連携ワークショップ, 2023 年 12 月 13 日, 京都第一赤十字病院講堂 (ワークショップ).

2. 下村雅律, 岡田悟, 古谷竜男, 井上匡美.

剣状突起下アプローチによるロボット支援胸腺摘出術～30 例の経験を踏まえて～.

第 36 回日本内視鏡外科学会総会, 2023 年 12 月 7 日～9 日, パシフィコ横浜 (パネルディスカッション).

3. 下村雅律, 岡田悟, 石原駿太, 古谷竜男, 徳田涼介, 西井真知子, 河村太陽, 中川拓水, 川西凜太郎, 井上匡美.

Spread through air spaces 陽性の腫瘍径 2cm 以下病理病期 I 期肺腺癌切除例は肺転移再発が多く予後不良である.

第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会, 2023 年 10 月 19 日～10 月 21 日, 仙台国際センター (ワークショップ).

4. 下村雅律.

ロボット手術から学ぶ安全な胸腔鏡下肺切除術.

第 118 回日本肺癌学会関西支部学術集会, 2023 年 6 月 17 日, 京都経済センター (学術セミナー).

5. 下村雅律, 岡田悟, 石原駿太, 古谷竜男, 徳田涼介, 本田和暉, 西井真知子, 井上匡美.

剣状突起下アプローチによるロボット支援下胸腺摘出術の実際.

第 123 回日本外科学会定期学術集会, 2023 年 4 月 27 日～4 月 29 日, グランドプリンス新高輪 (パネルディスカッション).

6. 下村雅律.

多様化する肺癌術後補助化学療法～より良い術後成績をめざして.

近畿薬剤師合同学術大, 2023 年 2 月 4 日, WEB 開催 (共催セミナー).

7. 岡田悟, 内堀篤樹, 下村雅律, 古谷竜男, 井上匡美.

サルコペニアと免疫栄養状態から評価したフレイル肺癌症例の長期手術成績.

第 64 回日本肺癌学会学術集会, 2023 年 11 月 2 日～11 月 4 日, 幕張メッセ (シンポジウム).

8. 石原駿太，下村雅律，岡田悟，古谷竜男，徳田涼介，西井真知子，河村太陽，井上匡美.
剣状突起下アプローチによるロボット支援下胸腺摘出術における助手ポートの役割.
第 118 回肺癌学会関西支部，2023 年 6 月 17 日，京都経済センター（要望演題）.
9. 石原駿太，下村雅律，岡田悟，古谷竜男，徳田涼介，西井真知子，河村太陽，井上匡美.
上中葉間が不分葉の右上葉切除後に発症した中葉捻転症の 1 例.
第 66 回関西胸部外科学会学術集会，2023 年 6 月 8 日～6 月 9 日，大阪府立国際会議場（要望演題）.
10. 鈴木啓史.
若年性気胸手術にルネサンス「今こそ手縫いを見直そう」～自動縫合器を使用しない胸腔鏡下気胸手術の試み～.
第 76 回日本胸部外科学会定期学術集会，2023 年 10 月 19 日～10 月 21 日，仙台国際センター（パネルディディスカッション口演）.
11. 古谷竜男，下村雅律，岡田悟，中園千晶，西井真知子，河村太陽，川西凜太郎，中川拓水，井上匡美.
胸腺腫内の CD8 T 細胞における腫瘍内分化 T 細胞の多寡.
第 118 回日本肺癌学会関西支部学術集会，2023 年 6 月 17 日，京都産業会館ホール（口演，優秀演題賞）.
12. 中園千晶，下村雅律，岡田悟，古谷竜男，河村太陽，西井真知子，井上匡美.
胸膜播種、SVC 浸潤を伴う浸潤性胸腺腫に対し集学的治療により長期生存が得られている一例.
第 118 回日本肺癌学会関西支部学術集会，2023 年 6 月 17，京都産業会館（要望演題，優秀演題賞受賞）.
13. 亀山堅司，上島康生，中園千晶，池部智之，浦田洋二，岡田悟，井上匡美.
遊離心膜周囲脂肪織を Pledgets とした気漏修復法の検討.
第 40 回日本呼吸器外科学会学術集会，2023 年 7 月 13 日～7 月 14 日，朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター（パネルディスカッション）.
14. 森田竜一，石川剛，伊谷純一郎，曾根大暉，中江真，森本健司，岡田悟，土井俊文，山田剛司，浅井純，藤原敦子，塩崎敦，藤原斉，高山浩一，伊藤義人.
Nivolumab+Ipilimumab 併用療法における Ipilimumab の投与方法と irAE 発現との関連についての検討.
第 36 回日本バイオセラピー学会学術集会総会，2023 年 12 月 13 日～12 月 14 日，昭和大学上條記念館（要望演題）.

Ⅲ) 国際学会における一般発表
なし